

諏訪の景気動向

平成28年11月

(平成28年10月末 D・I調査)

平成28年11月30日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

諏訪地方の景気動向（平成 28 年 10 月末調査）

「平成 28 年 10 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 191 社のご協力を得て行った平成 28 年 10 月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは 0.0 となり、前回調査時(平成 28 年 7 月末、以下同)の 6.3 から悪化した。製造業の業況判断DIは $\Delta 0.8$ で、前回の $\Delta 2.2$ からやや改善した。一方、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは 1.6 で、前回の 25.8 から 24.2 ポイント悪化した。「3 ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が $\Delta 3.9$ (前回 6.0)と悪化し、非製造業も $\Delta 6.6$ で前回の 0.0 より悪化し、回答全社では $\Delta 4.7$ (前回 4.2)となった。

諏訪地方の企業は総体的に横這い状況で推移し、製造業では熊本地震や軽自動車の燃費データ不正問題からの回復の動きが一部で見られる。一方で、受注は多品種、少ロット、短納期の傾向が強まり、取引先からの受注予測が不明確で生産計画に苦慮する企業もある。経営課題は前回に比べ、全業種で「資金繰り」を課題に挙げる企業が増えている。また、「労働力不足」は数だけでなく、技能承継や人材育成、後継者などを挙げる企業も多い。その中で、諏訪では地方都市で国内最大級の工業展示商談会の諏訪圏工業メッセが開かれ、過去最多の出展企業が独自技術や製品を国内外に示した。非製造業は、円高や株安、天候の影響などが消費者心理を冷やした。観光は全国統計に反してインバウンドの減少が目立ち、建設は横ばい状況で推移した。

製造業の「3 ヶ月前」と比べた受注状況DIは前回の $\Delta 0.7$ から 1.6 へ改善し、収益性DIは前回の $\Delta 12.1$ から $\Delta 6.2$ へ改善している。資金繰りDIは、悪化した前回の $\Delta 12.8$ から $\Delta 9.2$ へ改善したが、マイナス水準が続いている。「前年同期」との比較では、業況判断DIは $\Delta 8.5$ と前回の $\Delta 20.3$ から改善し、受注状況DIも $\Delta 4.6$ で前回の $\Delta 15.1$ から改善した。収益性DIは $\Delta 4.6$ で前回の $\Delta 17.3$ から改善した。一方、「3 ヶ月後」の予想DIは業況判断が $\Delta 3.9$ で、前回の 6.0 から悪化し、受注状況も前回の 6.1 から $\Delta 5.4$ 、収益性は前回の $\Delta 0.7$ から $\Delta 4.6$ へ悪化予想が増加している。地区内製造業は、ここ数年で最高水準の売上となり、今後もプラス予想をする企業の一方で、年明けからの受注の見通しに苦慮する企業など、取引先や取扱い製品などの状況によって業況に差が見られる。

商業は、「3 ヶ月前」と比べて業況判断DIが $\Delta 3.5$ で、前回の 14.2 から悪化した。売上DIは 0.0 で前回の 17.9 から悪化している。また、来客数DIは $\Delta 13.8$ (前回 3.5)、客単価DIは $\Delta 10.4$ (前回 3.6)で、前回より悪化している。収益性DIは前回の 21.5 から $\Delta 6.9$ へ悪化し、資金繰りDIも前回の 3.6 から $\Delta 10.4$ へ悪化している。9 月の台風や長雨の影響が長期化し、野菜の高騰が家計を直撃した。また、10 月の寒暖差が衣料や家電製品などに影響を及ぼした。自動車販売は、諏訪地方の 10 月の車庫証明件数(軽自動車除く)が 864 件で、前年同月比では 67 件減少($\Delta 7.2\%$)した。低い水準での横這い状況が続き、軽自動車離れの受け皿となるコンパクトカー市場も盛り上がり欠けている。

観光・サービス業は、「前年同期」と比べた業況判断DIは $\Delta 7.1$ (前回 33.3)、売上DIは $\Delta 7.2$ (前回 20.0)で、宿泊客数DIは $\Delta 21.4$ と前回の 13.3 から悪化した。また、収益性DIも 7.2 と、前回の 20.0 から悪化している。「3 ヶ月後」の業況予想DIは季節要因などで、 $\Delta 14.3$ と前回の 6.6 から悪化し、宿泊客数予想DIも $\Delta 35.7$ で前回の

建設業の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて0.0で大幅に改善した前回調査時の20.0より悪化した。「前年同期」比も△16.6で前回の0.0より悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは11.1で前回の△6.6より改善している。

受注状況DIは「3ヶ月前」比は22.2で前回の6.7より改善した。「前年同期」比では△5.6で前回の△13.4より改善しているが、マイナス水準で推移している。「3ヶ月後」の予想は△5.5で前回の0.0より悪化している。諏訪地方の平成28年9月の新設住宅着工戸数は101戸で、前年同月比31戸増加(44.3%)した。平成28年4月～9月の累計着工戸数は597戸で、前年同期比56戸増加(10.4%)している。平成28年10月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は8件、232百万円だった。また、市町村からの受注工事は、合計90件、758百万円で、前年同月比件数は3件増、契約金額は103百万円増加した。

回答全社 業況判断ＤＩの推移（当庫での調査開始時より）



業況判断DIの推移「3ヶ月前と比較して」

回答全社(191社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が17.3%、「横這」企業が65.4%、「悪化」企業が17.3%で0.0となった。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは4.2だったが、予想より「好転」企業が少なく、「悪化」企業が多かった。

製造業は、「好転」企業が15.8%から16.9%へ1.1ポイント増加し、「悪化」企業は18.0%から17.7%へ0.3ポイント減少した。ほぼ横這い状態の推移だが、非製造業は、「好転」企業が前回の37.9%から18.0%へ減少し、「悪化」企業は12.1%から16.4%へ増加した。観光・サービスの業況判断DIは14.3で39.1ポイント悪化した。建設業は0.0(前回20.0)となり、商業も前回の14.2から△3.5と悪化している。

産業別業況表

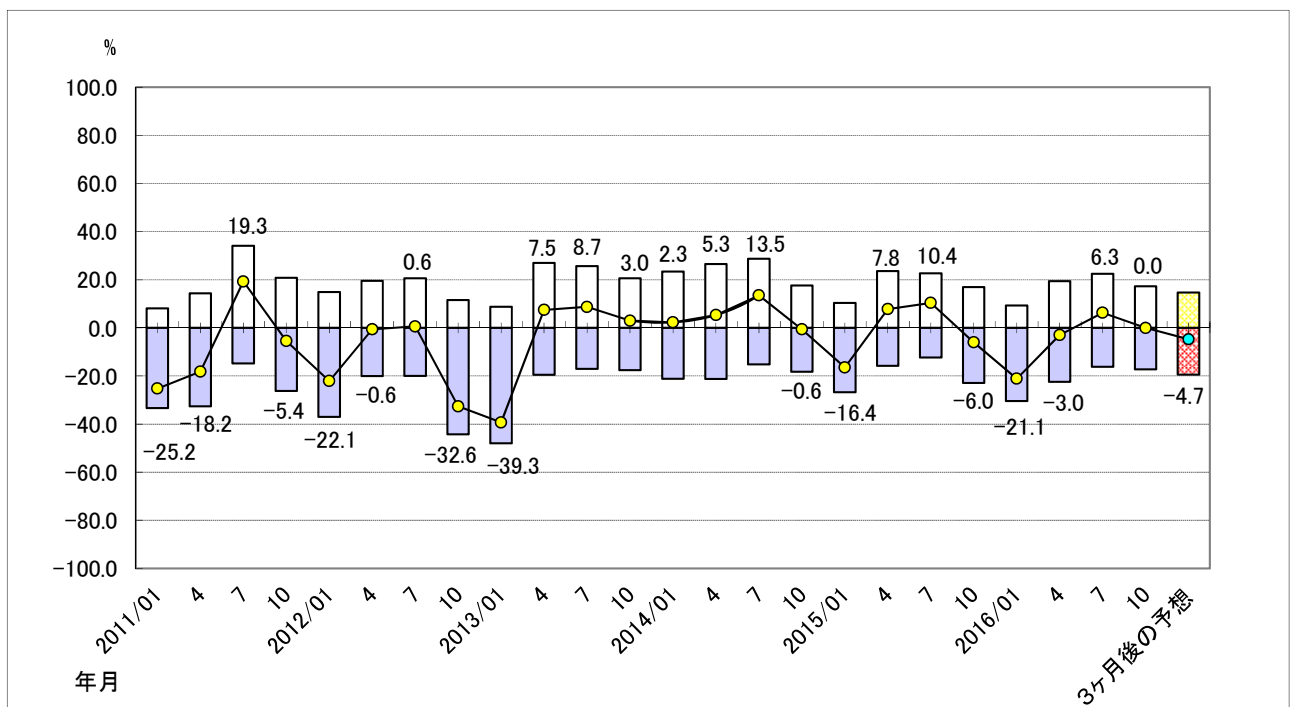
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全 体	191	17.3	65.4	17.3	0.0	191	19.9	48.7	31.4	-11.5	191	14.7	66.0	19.4	-4.7
製造業	130	16.9	65.4	17.7	-0.8	130	20.0	51.5	28.5	-8.5	130	13.8	68.5	17.7	-3.9
非製造業	61	18.0	65.6	16.4	1.6	61	19.7	42.6	37.7	-18.0	61	16.4	60.7	23.0	-6.6
商 業	29	17.2	62.1	20.7	-3.5	29	17.2	41.4	41.4	-24.2	29	13.8	58.6	27.6	-13.8
建設業	18	16.7	66.7	16.7	0.0	18	16.7	50.0	33.3	-16.6	18	16.7	77.8	5.6	11.1
観光・サービス	14	21.4	71.4	7.1	14.3	14	28.6	35.7	35.7	-7.1	14	21.4	42.9	35.7	-14.3

自社業況判断DIの推移

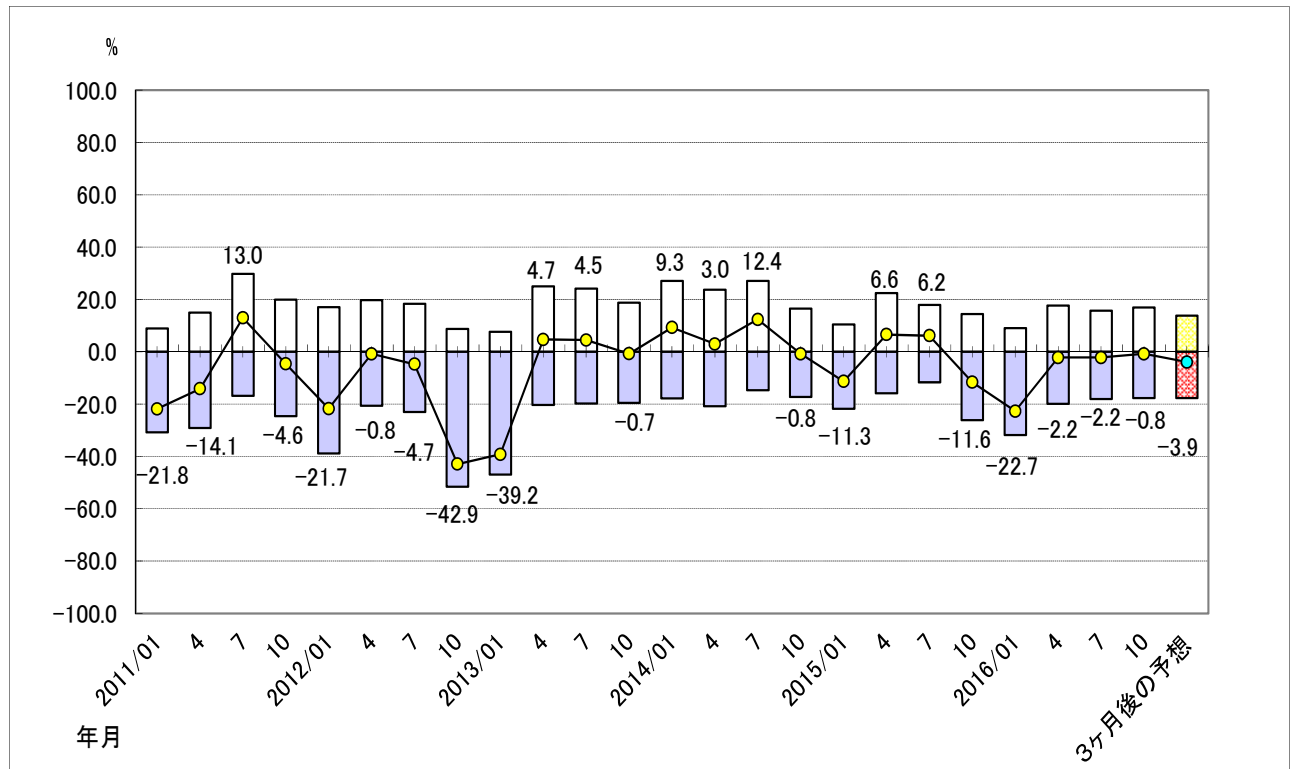
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



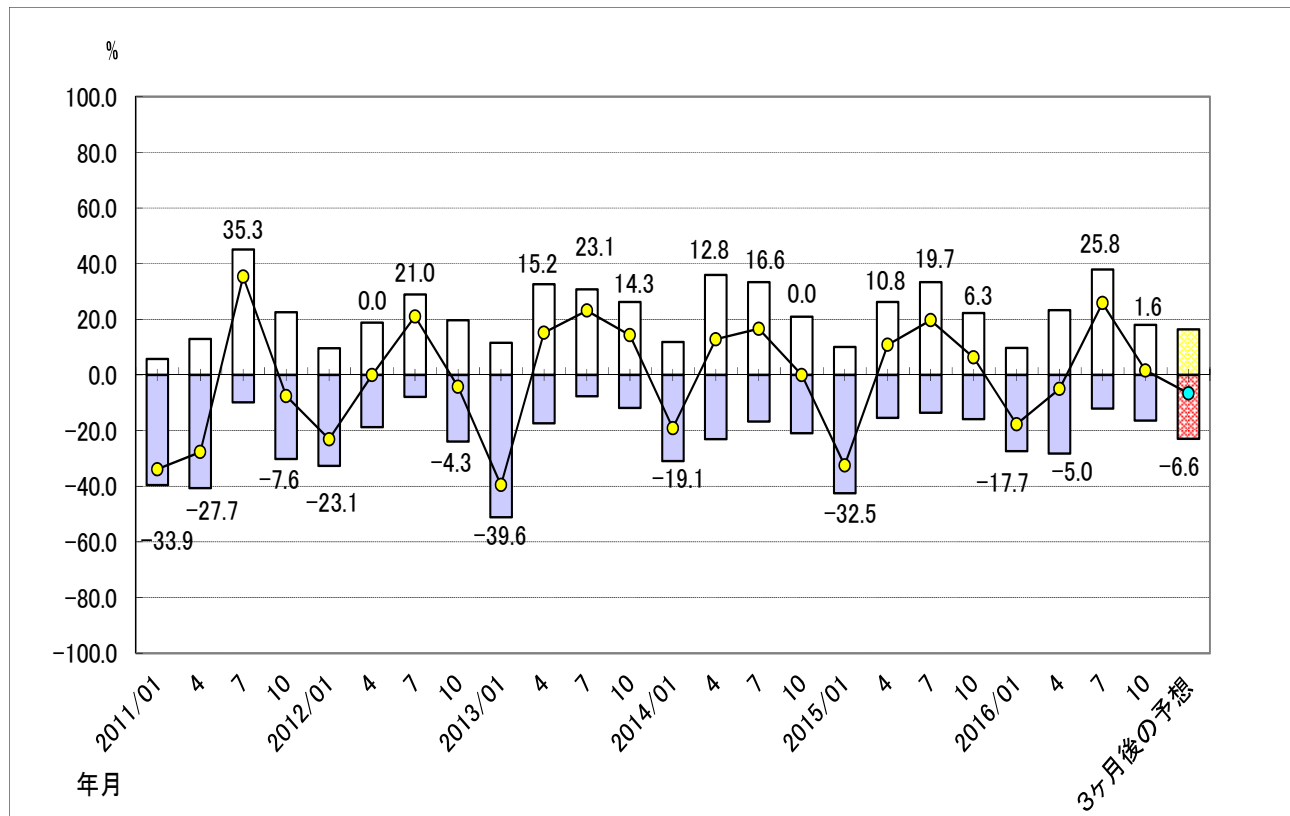
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1.製造業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比で△0.8と、前回調査時の△2.2から改善し、「前年同期」比でも△8.5と前回の△20.3から11.8ポイント改善した。しかし、「3ヶ月後」の予想は△3.9で悪化予想の企業が増え、前回の6.0から9.9ポイント悪化した。

受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて1.6で、前回の△0.7から改善した。「前年同期」比も前回の△15.1から△4.6へ改善しているが、「3ヶ月後」の予想DIは△5.4で前回の6.1から悪化している。取引先からの受注予定が示されず「今日来て、あさって納品という発注方法なので先行きは不透明」とする声がある。

収益性DIは、「3ヶ月前」比で△6.2と前回の△12.1から5.9ポイント改善した。「前年同期」比でも前回の△17.3から△4.6へ12.7ポイント改善したが、「3ヶ月後」の予想は△4.6で、前回の△0.7より3.9ポイント悪化している。

電力や燃料などのエネルギーコストは3ヶ月前に比べて11.5%（前回10.5%）、前年同期比では18.5%（前回19.5%）の企業が低下している。3ヶ月後は78.5%（前回88.0%）が横這で推移するとみている。

業種別（主要5業種）の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「精密機械」が18.2（前回△10.0）、「輸送用機械」は0.0（同△12.5）、「金属製品」が23.5（同22.2）、「電気機械」が△3.4（同△3.6）と改善し、「一般機械」は0.0（同5.8）で悪化した。

「前年同期」比では、「金属製品」が23.6（前回△5.5）、「輸送用機械」が6.2（同△25.0）、「一般機械」は△15.1（同△26.5）、「電気機械」が△20.7（同△32.2）と改善したが、「精密機械」は9.1（同10.0）でやや悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「一般機械」が△3.1（前回△11.8）と改善しているが、「精密機械」が9.1（同40.0）、「輸送用機械」は0.0（同12.5）、「電気機械」が△3.5（同10.7）、「金属製品」は△11.7（同5.5）と悪化予想が多い。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表－2

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答 企業	好転	横這	悪化	DI	回答 企業	好転	横這	悪化	DI	回答 企業	好転	横這	悪 化	DI
製造業		130	16.9	65.4	17.7	-0.8	130	20.0	51.5	28.5	-8.5	130	13.8	68.5	17.7	-3.9
規 模	1～29人	69	15.9	63.8	20.3	-4.4	69	15.9	58.0	26.1	-10.2	69	5.8	72.5	21.7	-15.9
	30～99人	42	19.0	64.3	16.7	2.3	42	23.8	42.9	33.3	-9.5	42	28.6	59.5	11.9	16.7
	100人～	19	15.8	73.7	10.5	5.3	19	26.3	47.4	26.3	0.0	19	10.5	73.7	15.8	-5.3
中 分 類	金属製品 製造業	17	29.4	64.7	5.9	23.5	17	41.2	41.2	17.6	23.6	17	5.9	76.5	17.6	-11.7
	一般機械 器具製造業	33	18.2	63.6	18.2	0.0	33	18.2	48.5	33.3	-15.1	33	12.1	72.7	15.2	-3.1
	電気機械 器具製造業	29	20.7	55.2	24.1	-3.4	29	17.2	44.8	37.9	-20.7	29	10.3	75.9	13.8	-3.5
	輸送用機械 器具製造業	16	6.3	87.5	6.3	0.0	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	18.8	62.5	18.8	0.0
	精密機械 器具製造業	11	18.2	81.8	0.0	18.2	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	27.3	54.5	18.2	9.1

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて23.5で、大幅改善した前回調査時の22.2から2期連続で改善し。「前年同期」比も23.6(前回△5.5)と大幅改善した。ただ、「3ヶ月後」の予想は△11.7(前回(5.5)で、悪化と見る企業が多い。自動車関連は低調だが、メーカーや車種によって一部に動きが出て、昨年の売上を大きく上回る企業もある。米国の動向に対する不安の声が多い。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回の5.8より悪化した。「前年同期」比では△15.1で、大幅悪化した前回の△26.5より改善している。「3ヶ月後」の予想も△3.1で、水面下ながら前回の△11.8から改善した。省力化、検査機、軽搬送機械などで旺盛な受注が続いているが、新興国向け工作機械などは低調に推移している。リニア新幹線工事関連の引き合いを受けている企業もある。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前」比で△3.4と、前回の△3.6とほぼ同様に推移し、「前年同期」比は△20.7で前回の△32.2から悪化幅がやや縮小した。ただ、「3ヶ月後」の予想は△3.5で前回の10.7から悪化した。一部プリンターや携帯電話、半導体関連などで好調が続いている。ただ、従来からの取引先の受注が減少したり、コストダウン要請に苦慮する企業がある。韓国サムスンの発火事故の影響は少ないとみられる。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回の△12.5から改善した。「好転」企業が前回の12.5%から6.3%に減ったが、「悪化」企業も前回の25.0%から6.3%に減少した。「前年同期」比は6.2で、前回の△25.0から改善している。「3ヶ月後」の予想は0.0で、前回の12.5より悪化した。自動車関連は依然、国内生産が低迷しているが、燃費データ不正問題で数ヶ月前から止まっていた三菱自動車関連やブレグジット問題で生産が減少していた欧州向け製品に動きが始まっている。船外機は米国のレジャー向けボート関連に好調な動きが見られる。船舶のスクルー部品の受注が増加し、売上を伸ばした企業もある。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて18.2で、前回の△10.0より改善した。「前年同期比」では9.1(前回10.0)とほぼ同様に、「3ヶ月後」の予想は9.1(前回40.0)で、好転予想の企業が減少した。中国の設備需要減退の影響で、工作機械監視カメラには落ち込みが見られる。発注が多い地元企業があるが、総合的な回復は力強さに欠け、世界情勢を気にする企業が多い。経費や現地技術の向上などで、海外子会社の撤退を考える企業もある。

②規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の△9.7から△4.4へやや改善し、「30～99

人」規模は前回の4.7から2.3へ悪化、「100人以上」規模は前回の11.1から5.3へ悪化した。「前年同期」比は「1～29人」規模が△10.2で前回の△32.0から改善し、「30～99人」規模が△9.5で前回の4.6から悪化し、「100人以上」規模は0.0で、大幅悪化した前回の△33.3から改善した。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模が△15.9で前回の0.0より悪化し、「30～99人」規模は16.7で前回の7.0から改善し、「100人以上」規模は△5.3で前回の27.7より悪化している。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「増加」企業23.1%、「減少」企業21.5%で1.6と、前回調査時の△0.7から改善している。「前年同期」比も△4.6で前回の△15.1から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は「増加」が「減少」を下回る△5.4で、前回の6.1から悪化している。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△7.3で、前回の△2.8から悪化した。「30～99人企業」は9.5で、前回の0.0から改善し、「100人以上企業」は15.8で前回の5.6から改善している。「前年同期」比では「1～29人企業」が△8.7で前回の△26.4から改善した。「30～99人企業」は△2.3で前回の6.9から悪化した、「100人以上企業」は5.3で前回の△22.2から改善した。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が△18.9で前回の△1.3から悪化し、「30～99人企業」は前回の7.0から14.3へ改善した。「100人以上企業」は0.0で前回の33.3から悪化予想が多くなっている。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前」比は、「金属製品」が前回の27.7から17.6と悪化した、「一般機械」は2.9から6.1へ改善し、「精密機械」は大幅悪化した前回の△20.0から9.1と改善した。「輸送用機械」も0.0から12.5へ改善し、「電気機械」は△10.7から△6.9とやや改善した。「前年同期」比は、「金属製品」が5.5から29.5、「輸送用機械」は△6.3から18.8、「電気機械」は△28.6から△17.2、「一般機械」は△26.4から△12.1へと改善したが、「精密機械」は10.0から0.0へ悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「輸送用機械」は0.0から6.2へ改善したが、「精密機械」が前回の40.0から18.2、「金属製品」は11.1から△17.6、「電気機械」は0.0から△3.5、「一般機械」は3.0から△6.0へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

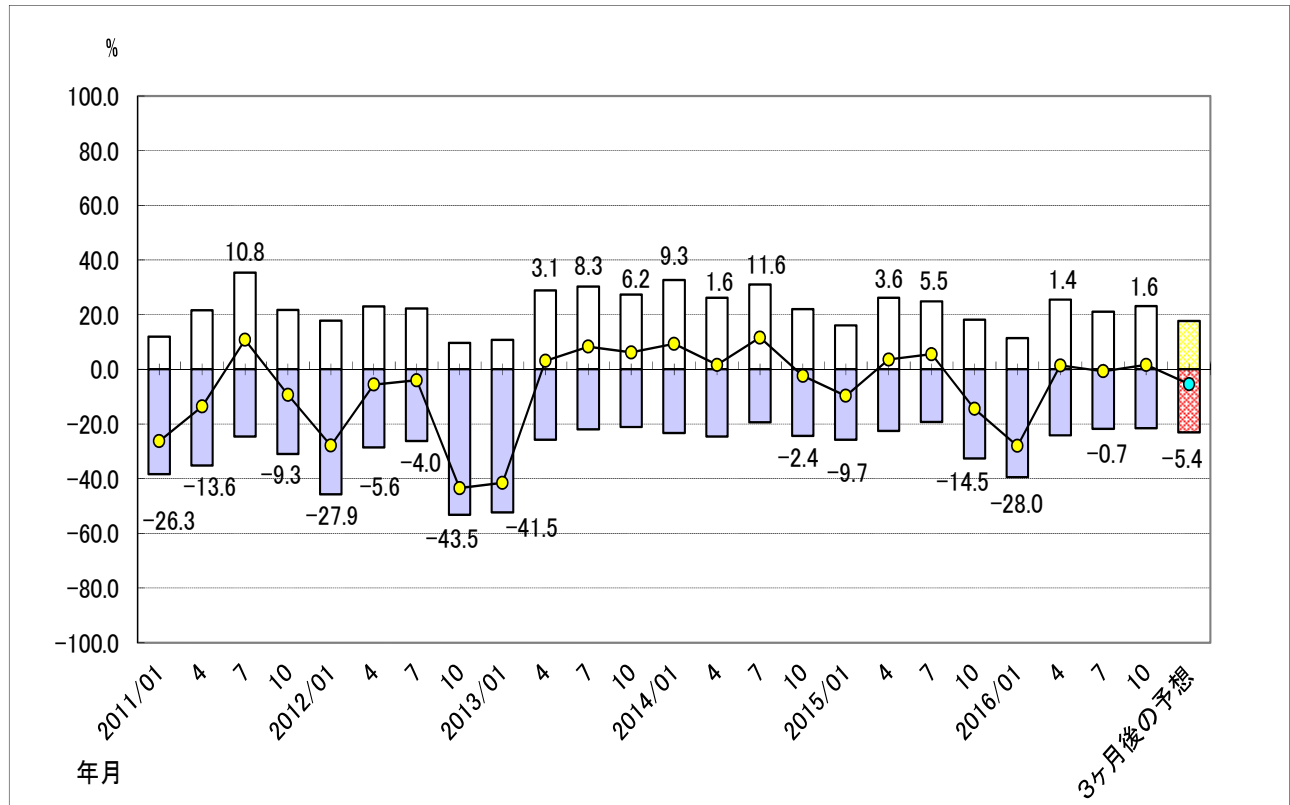
表－3

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答 企業	増加	不変	減少	DI	回答 企業	増加	不変	減少	DI	回答 企業	増加	不変	減少	DI
製造業		130	23.1	55.4	21.5	1.6	130	26.9	41.5	31.5	-4.6	130	17.7	59.2	23.1	-5.4
規模	1～29人	69	18.8	55.1	26.1	-7.3	69	23.2	44.9	31.9	-8.7	69	7.2	66.7	26.1	-18.9
	30～99人	42	26.2	57.1	16.7	9.5	42	31.0	35.7	33.3	-2.3	42	33.3	47.6	19.0	14.3
	100人～	19	31.6	52.6	15.8	15.8	19	31.6	42.1	26.3	5.3	19	21.1	57.9	21.1	0.0
中分類	金属製品 製造業	17	29.4	58.8	11.8	17.6	17	47.1	35.3	17.6	29.5	17	5.9	70.6	23.5	-17.6
	一般機械 器具製造業	33	30.3	45.5	24.2	6.1	33	21.2	45.5	33.3	-12.1	33	15.2	63.6	21.2	-6.0
	電気機械 器具製造業	29	20.7	51.7	27.6	-6.9	29	20.7	41.4	37.9	-17.2	29	17.2	62.1	20.7	-3.5
	輸送用機械 器具製造業	16	25.0	62.5	12.5	12.5	16	43.8	31.3	25.0	18.8	16	25.0	56.3	18.8	6.2
	精密機械 器具製造業	11	18.2	72.7	9.1	9.1	11	27.3	45.5	27.3	0.0	11	36.4	45.5	18.2	18.2

製造業の受注状況DIの推移

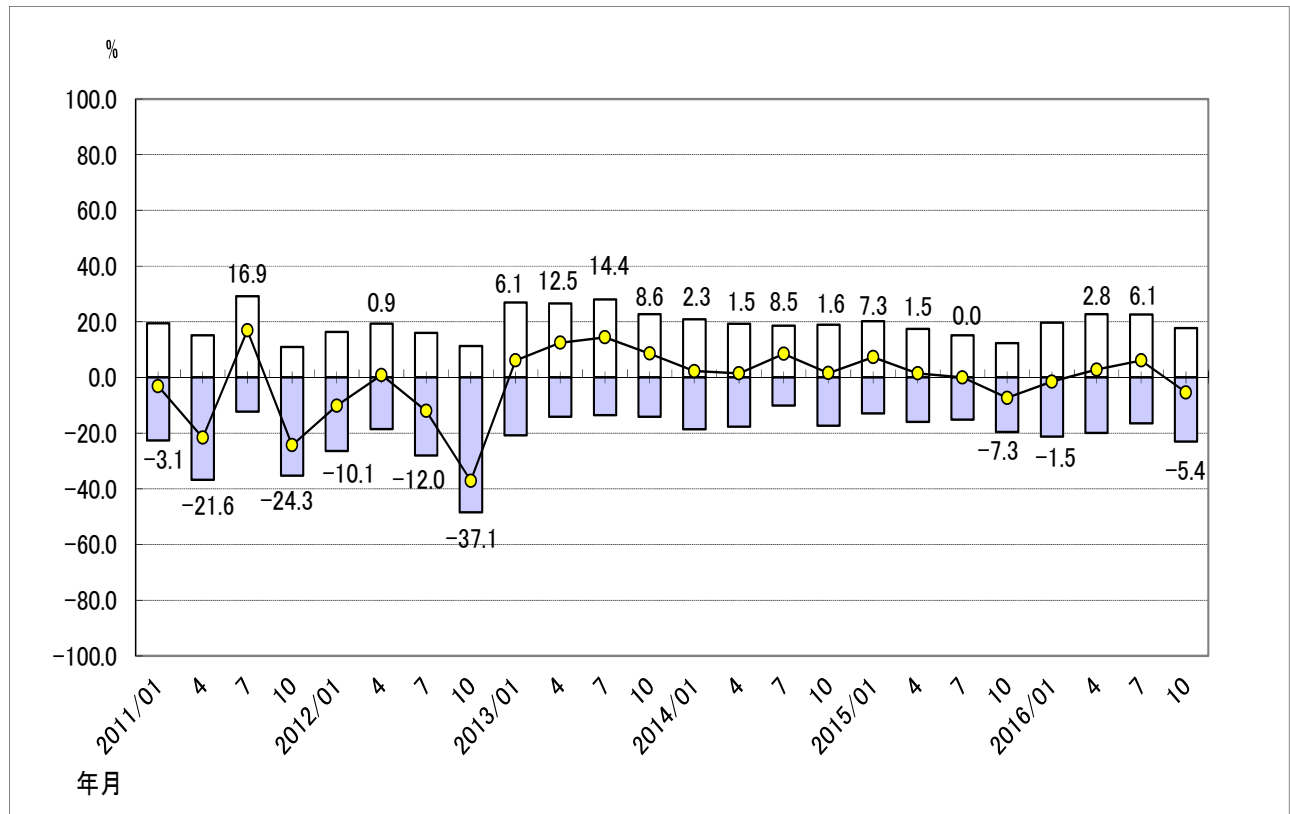
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



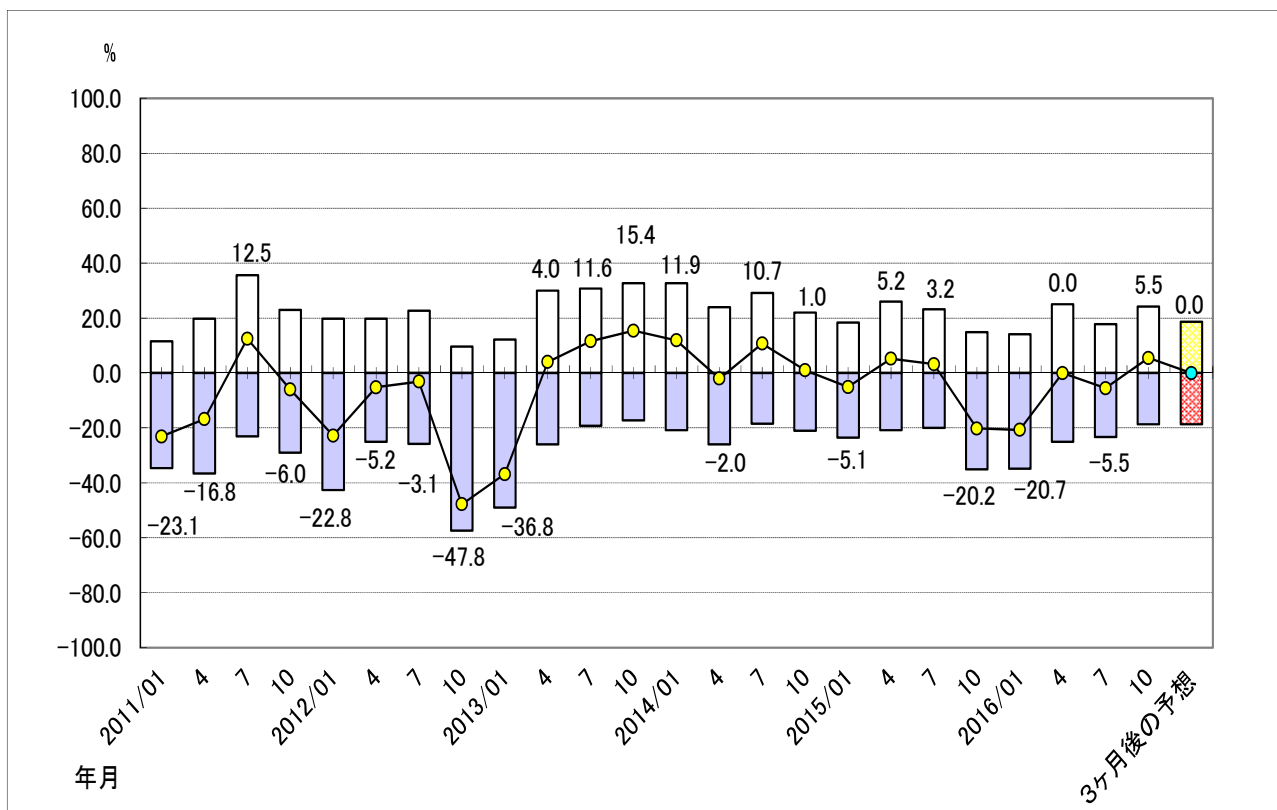
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



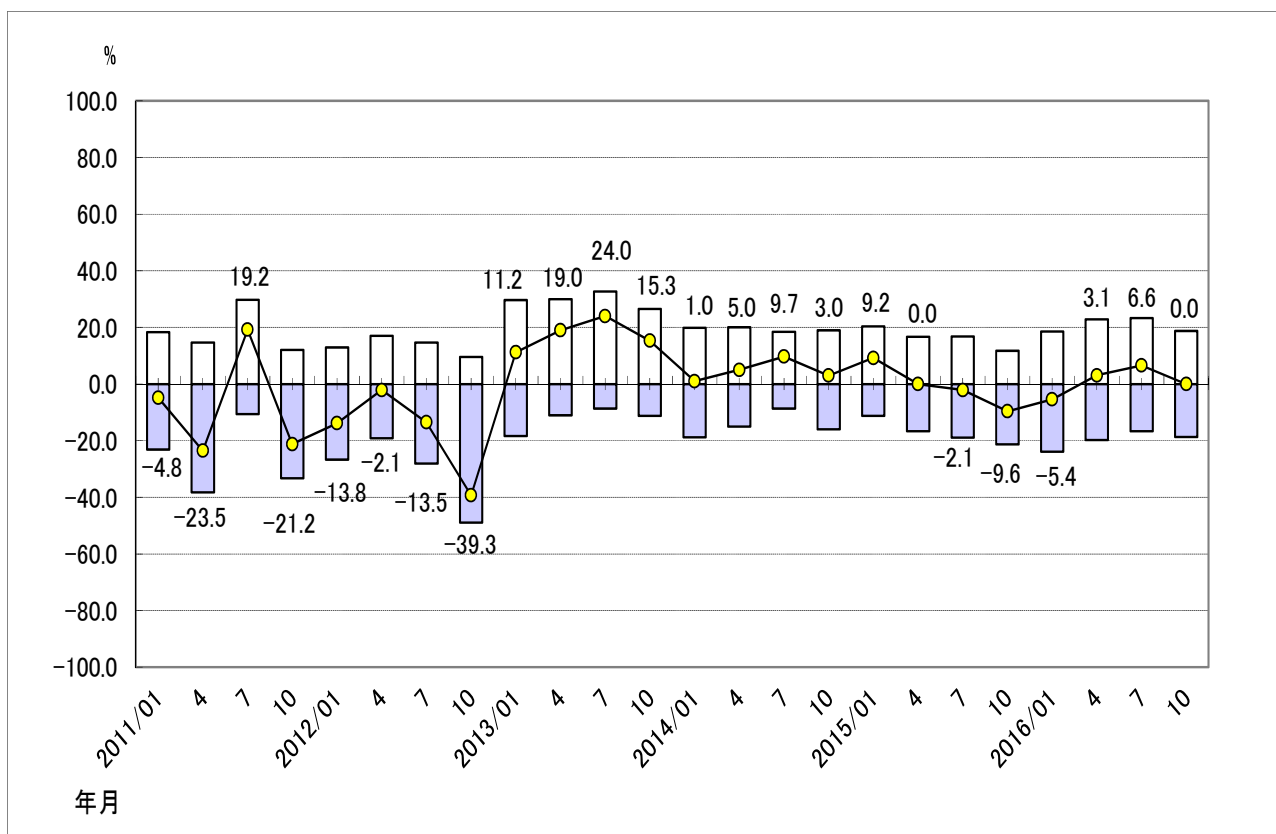
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



商業・観光サービス業

①商業 「前年同期」に比べて、業況判断DIは△24.2 と前回の△3.5 から悪化した。来店客数DIも△44.9 と前回の△10.7 から大幅悪化した。「3ヶ月後」は、業況予想DIが△13.8 で前回の0.0 から悪化し、収益性予想DIも△13.8 で、前回の7.1 から悪化予想の企業が増えている。来客予想DIも△17.2 で前回の△10.7 から悪化した。円高・株安や野菜の高値で消費マインドが冷えた上、小宮御柱祭で来店客が減少した店舗もあった。

- 食料品 台風や長雨の影響を受けた主要野菜の高値が長期化している。贈答用のリンゴが品薄で価格が上昇した。精肉関係も高止まりした。
- 衣料品 コートやブーツなどの冬物衣料の出足が鈍く、高齢者を中心に気温の変化に応じて体温調節できる機能性肌着などが伸びた。
- 自動車 長野県内の10月の新車新規登録・届出台数は登録車が4,506台で3ヶ月ぶりに減少、軽自動車は3,800台で22ヶ月連続減少した。全体では14ヶ月連続で減少した。
- 家電店 寒暖差があり、ヒーター類や電気毛布の売れ行きが伸びた。
- ホームセンター 上旬の急激な冷え込みでストーブやホットカーペット、電気暖房器具が伸びた。

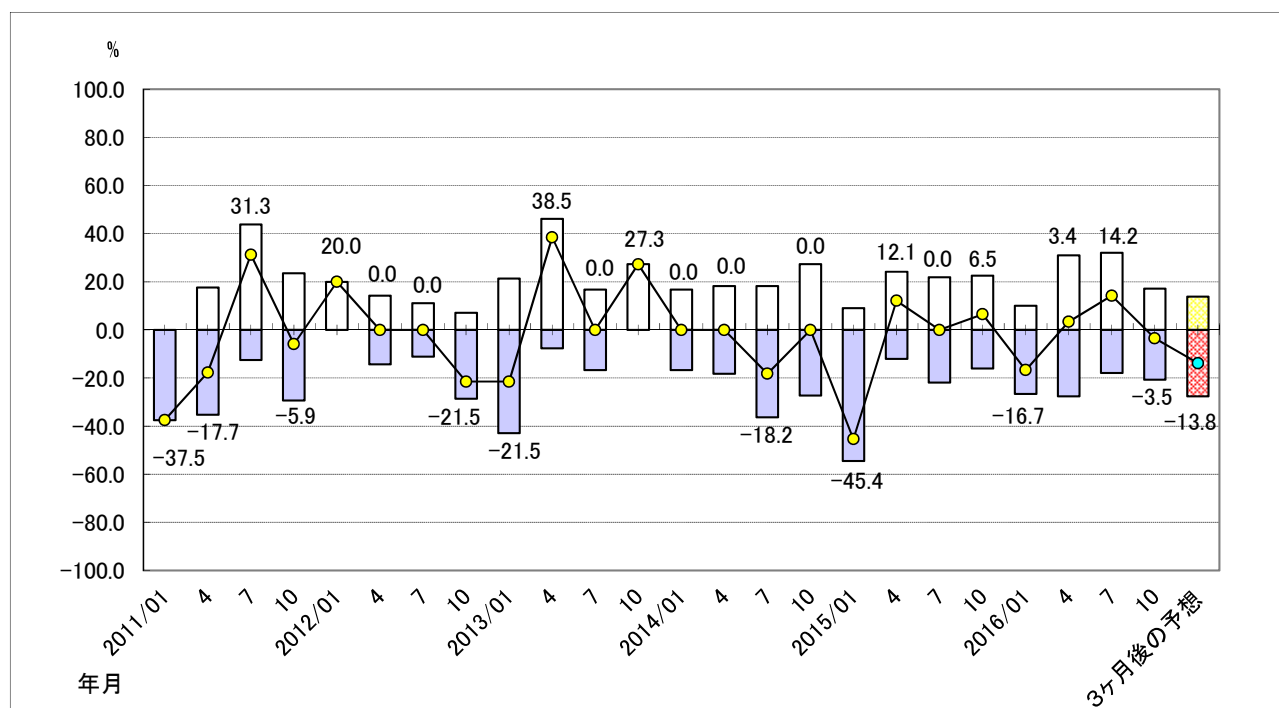
業況、客単価、来店客数

表－4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	29	17.2	62.1	20.7	-3.5	29	17.2	41.4	41.4	-24.2	29	13.8	58.6	27.6	-13.8
客単価	29	3.4	82.8	13.8	-10.4	29	10.3	62.1	27.6	-17.3	29	6.9	75.9	17.2	-10.3
来店客数	29	10.3	65.5	24.1	-13.8	29	3.4	48.3	48.3	-44.9	29	6.9	69.0	24.1	-17.2

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ－8



②観光・サービス業

「前年同期」比で、宿泊客数DIは△21.4 で前回の 13.3 から悪化した。客単価DIも△7.2(前回 20.0)でマイナス水準の動きとなった。「3ヶ月後」は季節要因もあり、宿泊客数予想DIが△35.7 と前回の△6.7 から悪化し、業況予想DIは△14.3 と前回の 6.6 から悪化した。好天が続いた前年同月に比べると悪化だが、今年は週末の天候が良く、高原の観光地では、紅葉目的の観光客が訪れた。一方、諏訪湖周辺の施設では団体客やインバウンドが減少傾向となっている。

- 上諏訪温泉 10月の宿泊客数は前年同月を下回った施設が多い。前年同月比は80%から106%台。構成人別では1～4人の個人客が多く、方面別では関東、東京、近畿方面からの宿泊客が多かった。インバウンドは全国集計と異なり減少傾向。また、ワカサギ釣りのシーズンを前に、大量死の影響で釣り船の予約が伸びていない。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 紅葉が長続きたため、入り込みも良好だった。車山で行われたイベントの影響で宿泊客が増加した施設もある。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた10月の参拝者数は約7万5千人で、前年同月比約1万8千人の増加(33.1%)となった。

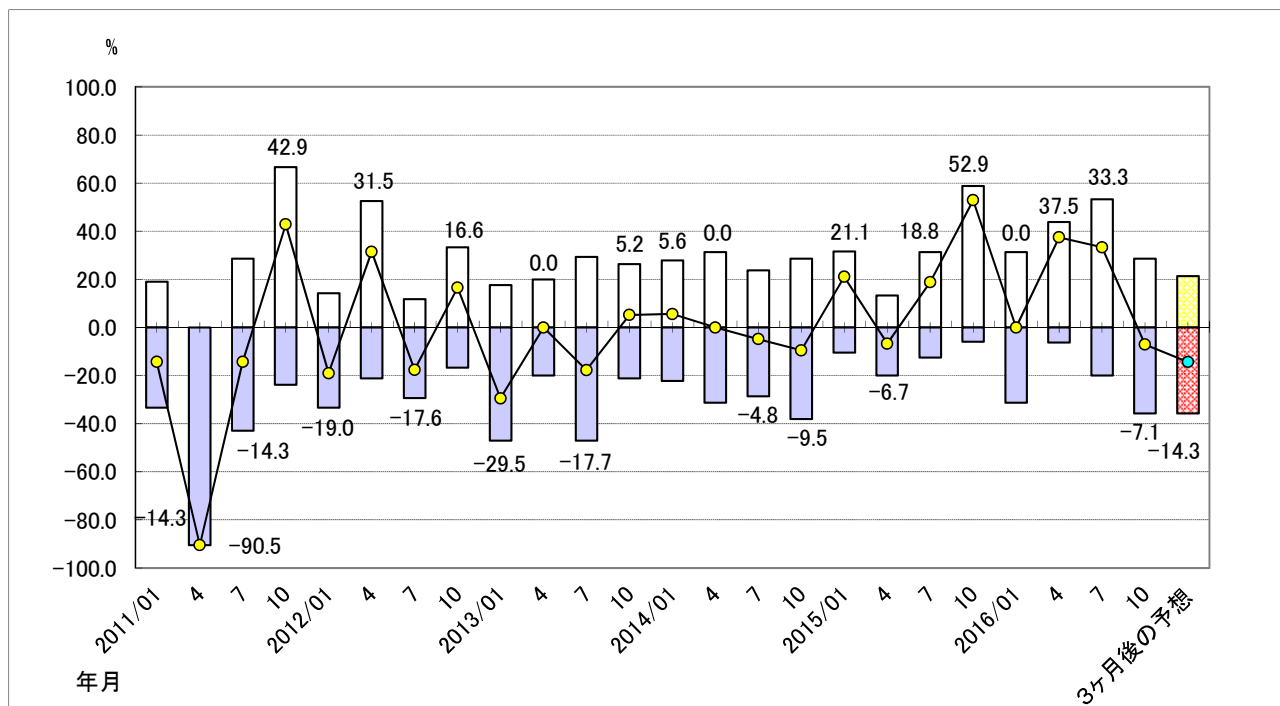
業況、売上、宿泊客

表－5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	14	21.4	71.4	7.1	14.3	14	28.6	35.7	35.7	-7.1	14	21.4	42.9	35.7	-14.3
客単価	14	14.3	57.1	28.6	-14.3	14	21.4	50.0	28.6	-7.2	14	7.1	35.7	57.1	-50.0
宿泊客数	14	28.6	28.6	42.9	-14.3	14	28.6	21.4	50.0	-21.4	14	21.4	21.4	57.1	-35.7

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフー9



3.建設業

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは0.0で、横這い状況で推移しているが、受注状況DIは前回の6.7から22.2へ改善している。収益性DIも△5.5で前回の△20.0から改善傾向となっている。ただ、「前年同期」比の業況判断DIは△16.6で前回の0.0から悪化した。3ヶ月後の業況予想DIは11.1で、前回の△6.6から好転予想が増えている。小宮御柱祭などで仕事を控えていた建築業者が多かったが、終了後から動き出している。公共工事の発注も増加しているが、「技術者不足や人の配置などの問題から応札できるか不明」とする企業がある。

●建築工事

諏訪地方の平成28年9月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市20戸、諏訪市22戸、茅野市42戸、諏訪郡17戸の合計101戸だった。長野県全体の9月の新設住宅着工戸数は1,147戸で、前年同月比39.2%増加した。持家、貸家、分譲とも増加した。

●公共工事

地元業者が受注した国県関係の公共工事は、10月は補正予算調整で減少したが、平成28年4～10月の累計は98件、3,320百万円で、前年同期累計比で9件、412百万円増加している。

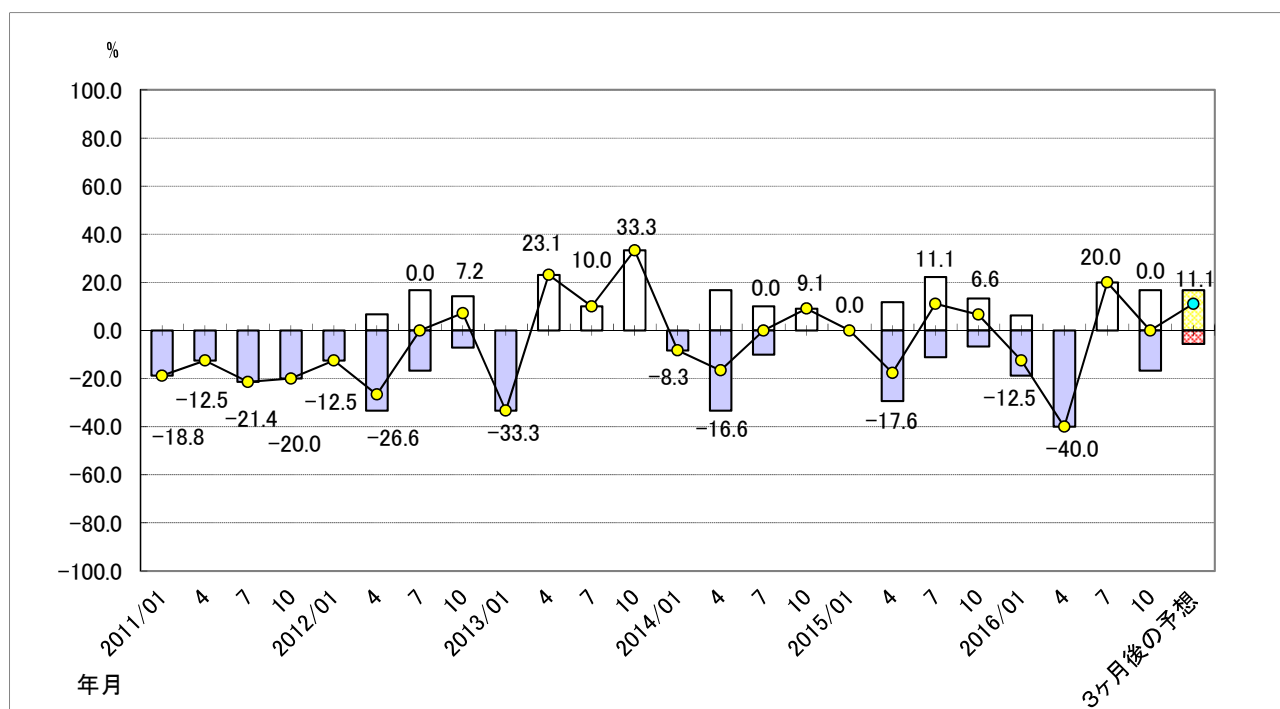
業況、受注状況、外注発注量

表－6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業 況	18	16.7	66.7	16.7	0.0	18	16.7	50.0	33.3	-16.6	18	16.7	77.8	5.6	11.1
受注状況	18	33.3	55.6	11.1	22.2	18	22.2	50.0	27.8	-5.6	18	16.7	61.1	22.2	-5.5
外注発注量	18	11.1	72.2	16.7	-5.6	18	16.7	38.9	44.4	-27.7	18	22.2	55.6	22.2	0.0

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー10



4.収益性状況

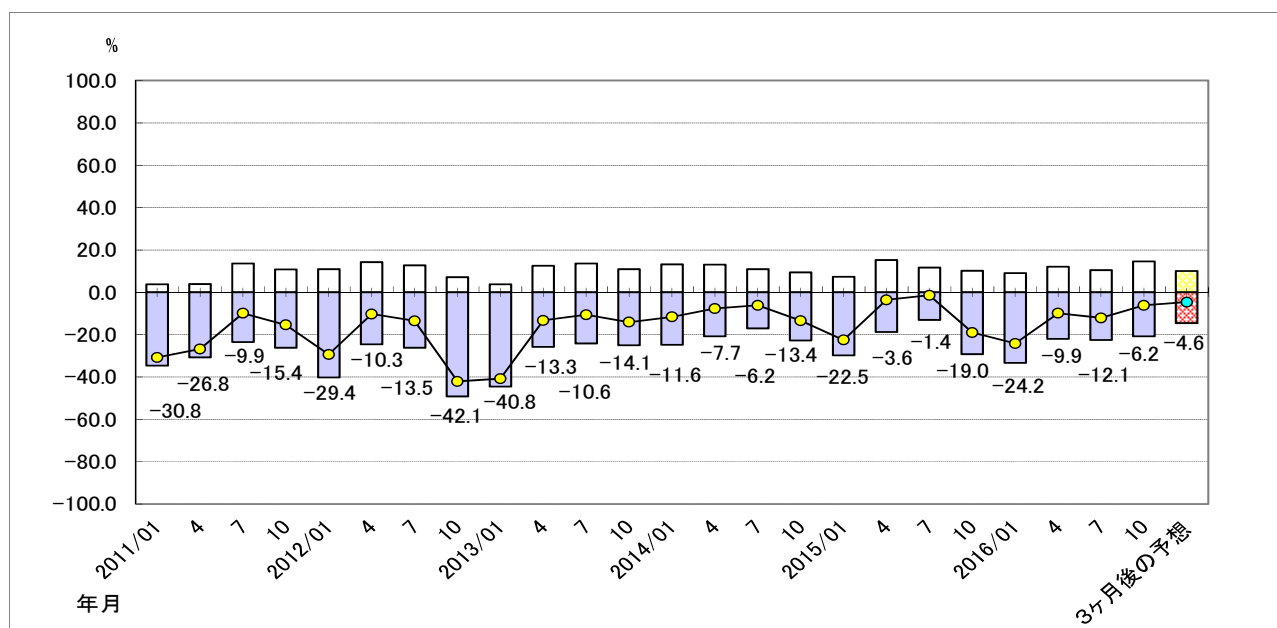
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 14.1%、「悪化」企業 20.4%で、同DIは△6.3 と前回調査時の△4.2 よりやや悪化した。が、「前年同期」比では△6.8 で、前回の△9.5 よりやや改善した。

「3ヶ月前」と比べて製造業は△6.2 で前回の△12.1 より 5.9 ポイント改善し、非製造業は△6.6 で前回の13.8 より 20.4 ポイント悪化している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△4.6 で前回の△0.7 より 3.9 ポイント悪化し、非製造業も△16.4 で前回の 0.0 より悪化している。回答全社では△8.4 で、前回の△0.6 より悪化している。

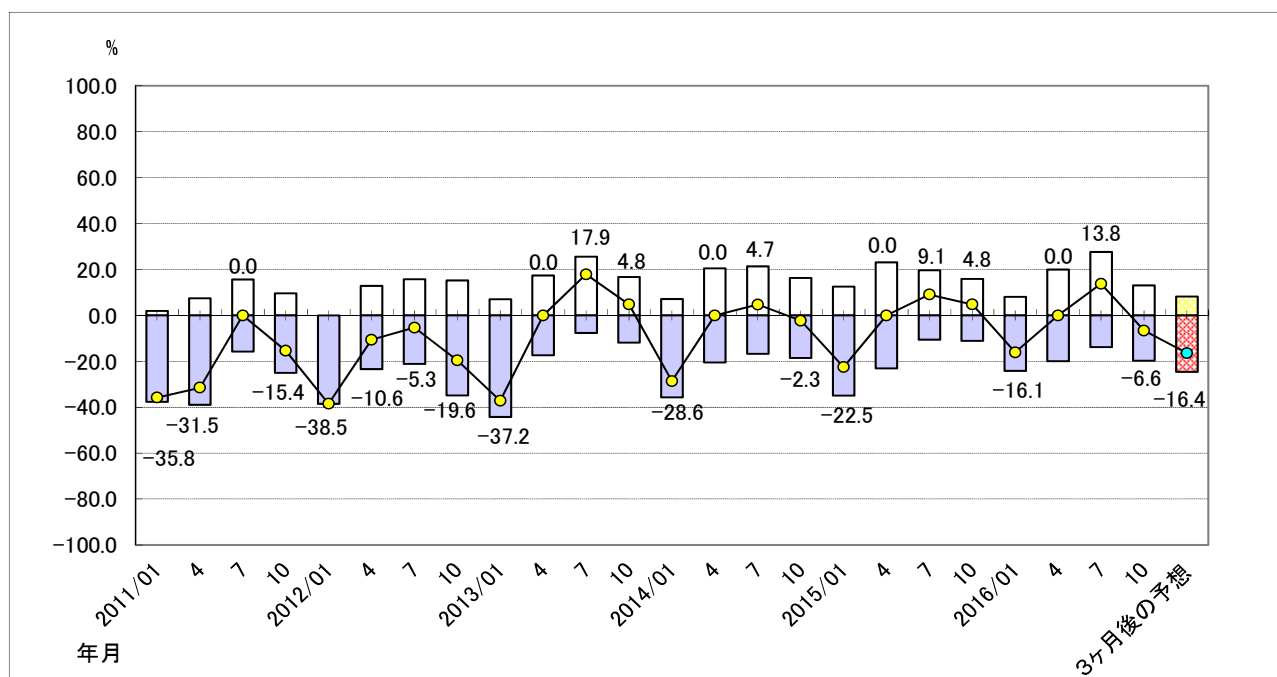
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少②商業は労働力確保、競争激化、売上減少③建設業は、労働力確保、競争激化、売上減少④観光・サービス業は労働力確保と人件費となっている。

経営上の課題	合 計	製 造 業	商 業	建 設 業	観光・サービス業
売 上 減 少	73	50	11	7	5
単 価 引 下 げ	30	23	4	1	2
競 争 激 化	46	26	11	7	2
資 金 繰 り	49	34	4	6	5
人 件 費	42	24	8	4	6
労 働 力 確 保	76	52	11	7	6

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実 数	前年同期比
有効求人倍率【9月】	ハローワーク諏訪	1.57 倍	0.24 ポイント
手形交換高 【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	4,942 枚	509 枚
	金 額	7,130 百万円	553 百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	1 枚
		金 額	91 千円
電力使用量 【10月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,613 MWh	△0.6 %
	高压電力計	84,175 MWh	△2.1 %
	合 計	123,788 MWh	△1.6 %
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		864 件	△7.2 %
新設住宅着工戸数【平成28年4～9月】(諏訪管内)		597 戸	10.4 %

7.調査概要

DI調査：業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成 28 年 10 月末。
- ② 調査内容 「平成 28 年 10 月末」の実績と、「3 ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3 ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約 130 社)。
- ④ 対象地域 諏訪地域全域。
- ⑤ 業 種 製造業、商業、建設業、観光・サービス業。
- ⑥ 回答企業数 191 企業。
- ⑦ 回答率 76.4%

	製造業	商 業	建 設 業	観光・サービス業	合 計
依 頼 数	170	40	20	20	250
回 答 数	130	29	18	14	191